

★この注文書でのご注文は返品条件付きで出荷します

●文芸書(海外文学) ご担当者さま

1月下旬出来予定
初版早い者勝ち

刊行忽ち重版決定!!

リディア・デイヴィスの代表作たる長篇

翻訳の仕事をしていると、たまに「自分が今までに訳したもののの中で一冊だけ自分が書いたことにできるなら何か」と質問されることがある。そんなとき、私はいつだって「『話の終わり!』」と即答してきた。それくらい私にとっては愛着の深い作品だ

(本書「訳者あとがき」より)



話の終わり

リディア・デイヴィス 著／岸本佐知子 訳

語り手の〈私〉は 12 歳年下の恋人と別れて何年も経ってから、交際していた数か月間の出来事を記憶の中から掘り起こし、かつての恋愛の一部始終を再現しようと試みる。だが記憶はそこそこでぼやけ、歪み、欠落し、捏造される。正確に記そうとすればするほど事実是指先からこぼれ落ち、物語に嵌めこまれるのを拒む。

【特製ポップ謹呈】

貴店印	注文数	978-4-560-	書 名	本体価格
		07245-5	話の終わり	1,800 円
		07174-8	ほとんど記憶のない女	1,200 円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)